

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年04月01日

計画の名称	鈴鹿市における南海トラフ地震に備えた防災まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和05年度（4年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	鈴鹿市												
計画の目標	本市は、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域（平成26年3月指定）に指定されており、南海トラフ地震の発生から約60分後に津波第1波が到達し、津波の高さは最大3m程度と想定されることから、津波浸水予測区域内の避難困難者を受け入れる避難施設を整備し、大規模災害に備えた防災まちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	32	A	32	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	鈴鹿市全域の津波浸水予測区域内の居住者に対する、避難施設の受入れ可能人数の割合を69.5%（令和2年度当初）から73.3%（令和5年度末）に増加させる。 避難施設の受入れ可能率 = 津波避難施設の受入れ可能人数 / 鈴鹿市全域の津波浸水予測区域内の居住者数	令和2年4月1日		令和6年3月31日
		70%	%	73%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	-	-	地区公共施設等整備(箕田地区)	津波避難施設の整備(市立大木中学校1ヶ所)	鈴鹿市						13	-		
	A13-002	都市防災	一般	鈴鹿市	間接	個人	-	-	地区公共施設等整備(鈴鹿市全域)	津波避難施設の整備(N=4箇所)	鈴鹿市						19	-		
												小計						32		
											合計							32		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課である鈴鹿市防災危機管理課で事後評価を行った	令和6年4月
	公表の方法
	鈴鹿市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	津波避難ビルを3箇所建設したことにより、収容可能人数が2,687人増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	津波避難ビルが増えたことにより、津波避難訓練を行うことが可能となり、地域の防災意識の向上を図ることができた。
特記事項（今後の方針等）	
新たに津波浸水区域内に避難施設を整備できるよう、引き続き調査していきたい	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	73%
	最終実績値	68%
		事業を行う前から津波避難ビルとして指定されていた白子サンズ（収容人員：10,000人）の事業廃止に伴い大幅に収容可能人数が減ったため